

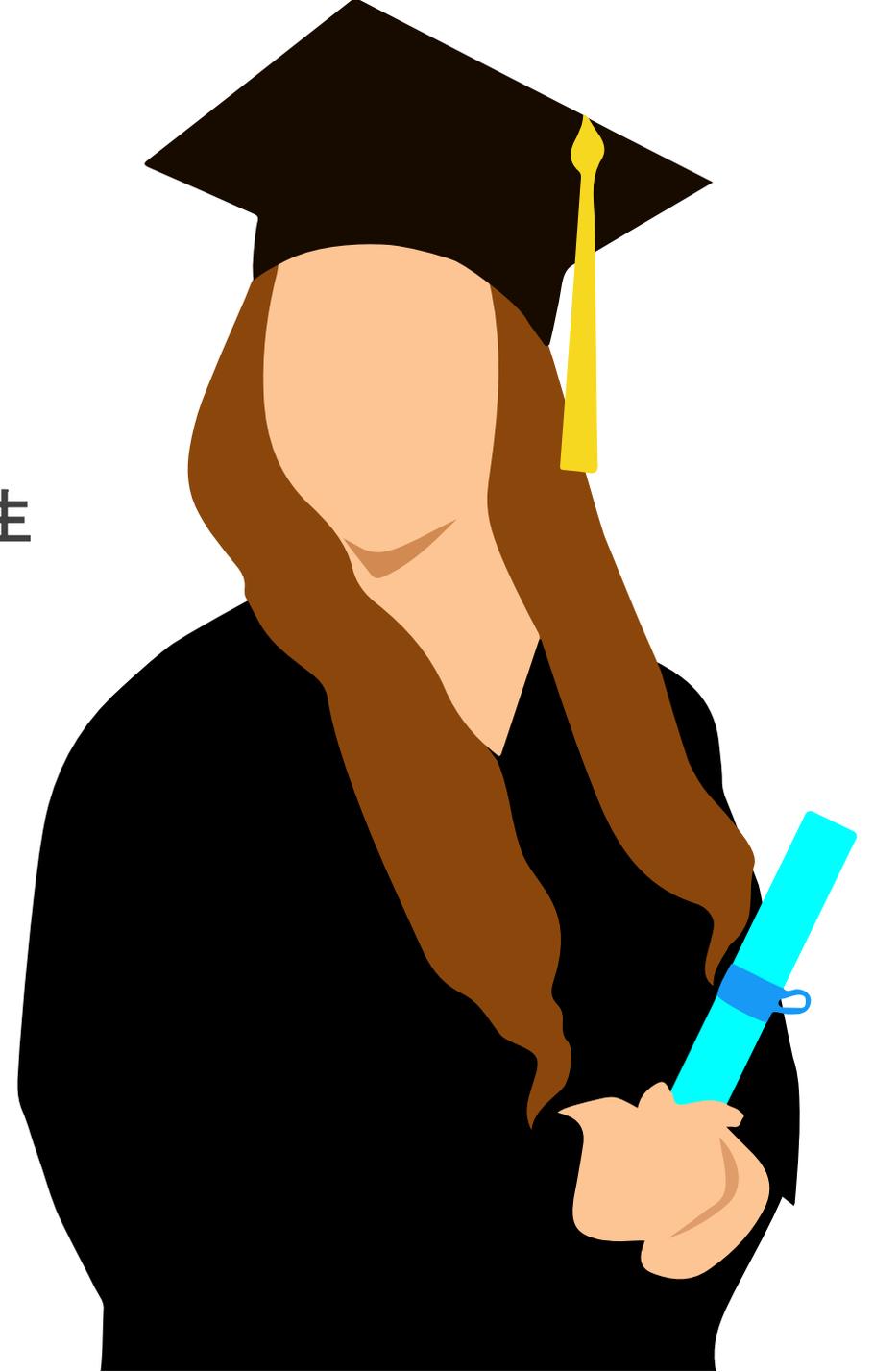
内部質保証に参画する学生代表

ーイギリスの大学の学生組合は、どのように学生代表を参画させているのかー

2023年6月11日（日）9:00～11:00

日本高等教育学会第26回大会（千葉大学）

田中正弘（筑波大学）



日本の課題と本発表の目的

日本の課題

日本における内部質保証への学生参画は、学生の主体性、活動の組織化、継続性の脆弱さなどに大きな課題を抱えている。



本発表は、左記の課題を克服するために必要な示唆を得る目的で、イギリスの事例を参照したい。

本発表の目的

A close-up photograph of a graduation cap (mortarboard) with a red and black tassel. A white envelope is tucked under the cap. The background is dark.

目次

1. 学生組合の全体像

2. 学生代表の役割

- 2.1. 学生代表の選出方法と研修内容
- 2.2. 学生代表の肩書きに応じた役割
- 2.3. 学生代表が集めた情報の集約・還元方法

3. 学生全体の声を教育改善に活かした実例

A group of graduates in black gowns are silhouetted against a sunset sky. They are standing on a hill, and many are throwing their mortarboards into the air. The caps are captured in mid-air, forming a semi-circular arc above the group. The sky is a mix of orange, yellow, and purple, with some clouds. The overall mood is celebratory and triumphant.

1. 学生組合の全体像

学生組合の全体像

- イギリスの学生組合は一般的に、大学から「自立した慈善団体」（independent charity）である。
 - 「自立した」とは、自らの営利活動（投資や寄付を含む）により経済的に自立しているという意味である。
 - ✓ 例えば、「ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン学生組合」（Students' Union UCL）の2019年度の総収入は、£10,641,947（約15億円）である。
 - イギリスの学生組合の多くは、自らの収入を元手に、内部質保証への学生参画を管理・運営する**常勤職員を雇用**している。
 - その常勤職員の中には、「**サバティカル・オフィサー**」（sabbatical officers）として有期雇用される、学生も含まれる（田中・武 2022）。

ピラミッド（階層）型組織

イギリスの学生組合は通常、
ピラミッド（階層）型組織を
採用している。



評議会（Board of Trustees）
最高意思決定組織



サバティカル・オフィサー
大学レベルの学生代表（有給）



上席代表（Senior Reps）
学部レベルの代表（無給）

コース代表（Course Reps）
学科レベルの代表（無給）



全員選挙で選ばれる

A group of graduates in black gowns are silhouetted against a sunset sky. They are standing on a hill, and many of them have their arms raised, having just thrown their black mortarboards into the air. The caps are scattered in a semi-circle above the group. The sky is a mix of orange, yellow, and purple.

2. 学生代表の役割など

- 2.1. 学生代表の選出方法と研修内容
- 2.2. 学生代表の肩書きに応じた役割
- 2.3. 学生代表が集めた情報の集約・還元方法

学生代表の選出方法

- サバティカル・オフィサーを含めた全ての学生代表は原則、立候補した学生の中から**選挙**で選ばれる。
 - 例えば、レディング大学では、学生代表を希望する学生が、学生組合のホームページ上で自薦の手続きを行う。
 - この自薦に基づいて、選挙は毎年、秋学期の開始時にオンラインで実施される。
 - 当選者はすぐに学生代表の業務に就く（任期は1年）。
 - 再任を希望する場合は、改めて、次の選挙に立候補しなければならない。

学生代表の研修内容

- コース代表（学科レベルの代表）は原則全員，その任務のための研修を受講しなければならない
- 例えば，「ウスター大学学生組合」（Worcester Students' Union）によると，研修は三つのステップに分けられる。
 - 第1に，学生組合の職員がコース代表の役割を説明する。
 - 第2に，上席代表，および学部の職員が，その学部に特化した，代表制度に関する重要な情報を説明する。
 - 第3に，各コース代表が研修完了の確定作業をオンラインで行う。
 - ✓この確定作業の際に，自らの個人情報だけでなく，彼ら／彼女らの活動を管理する上席代表の氏名も入力する。
 - ✓なお，これらの情報は，「フィードバック・ループ」（feedback loop）システム上に，自動的に登録される（Worcester Students' Union 2022）。

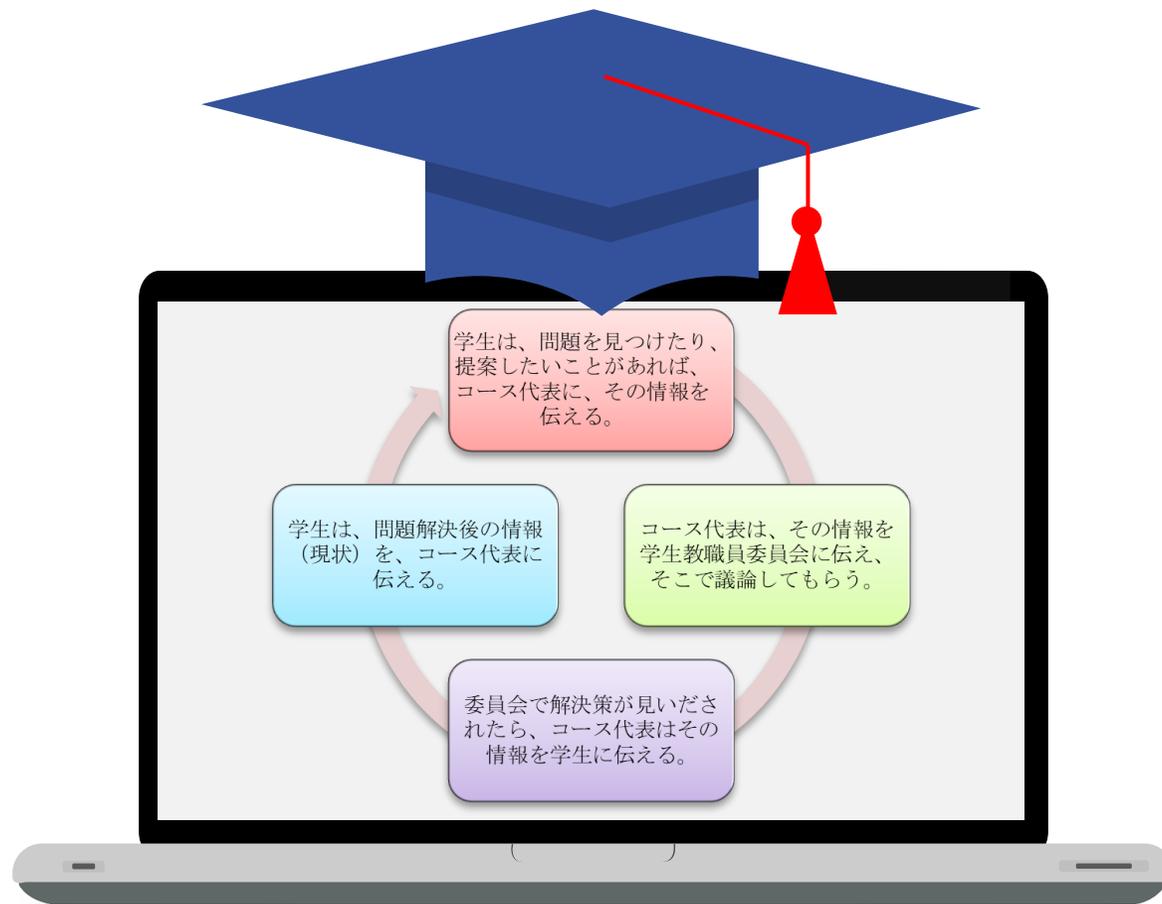
フィードバック・ループ・システム

- フィードバック・ループ・システムとは、学生の声を教育改善に活かす仕組みのことである。
- 例えば、ウスター大学では、そのシステムとして、「学生代表オンライン・ジャーナル」(Online Rep Journal) に学生代表が集めた情報を集約している。
 - このジャーナル上でコース代表が入力した情報は、そのコース代表を管理している上席代表に、メールで伝えられるようになっている。
 - 同様に、上席代表が入力した情報は、サバティカル・オフィサーが務める「代表統括者」(Vice President Education) に伝えられる。

学生代表の肩書きに応じた役割

- 学生代表の肩書きに応じた役割は、学生組合によって明確に規定されている。
 - 一例として、「ロンドン大学東洋アフリカ学院学生組合」(SOAS Students' Union)の「学生代表の役割説明書」(Student Representative Role Description)によると、コース代表の中核的な役割は四つある。
 - 一つ目の役割は、「学生からのフィードバック(意見)を科目・プログラムレベルで集約・報告すること」(Collecting and Reporting Module and Programme-Level Student Feedback)である。
 - 二つ目の役割は、「上席代表と協働すること」(Working in partnership with the School-level Student Representatives)である。
 - ✓ コース代表は、上席代表と緊密に連携し、科目やプログラムレベルで集められた学生の意見が、学部レベルの意思決定や上席代表が出席するフィードバックフォーラムに直接反映されるように務めなければならない。
 - 三つ目の役割は、「学生組合のフォーラム運営や優先事項の推進に務めること」(Students' Union Forums and Priorities)である。
 - ✓ ここで優先事項とは、男女平等や差別撤廃など、学生組合が優先的に実現しようとしている事柄を意味する。
 - 四つ目の役割は、「学生の声に耳を傾け、学生組合によるサポートを案内すること」(Listening to Students and Signposting Support)である。

学生代表が集めた情報の集約・還元方法



- 「ニューカッスル大学学生組合」(Newcastle University Students' Union) の説明によれば、「情報は学生と教職員の間をぐるぐる何度も回る『ループ』のようではなければならない」(2021: 10) .
- このフィードバック・ループを図式化すると、左の図のようになる。
 - なお、図中の「学生教職員委員会」(Student-Staff Committee) とは、学生と教職員が公式に話し合う場である。
 - この委員会は、学部ごとに少なくとも一つ設置されており、各学期に2回開催されている。

出典 : Newcastle University Students' Union, 2021, Course Rep Handbook, 10

図1 フィードバック・ループ

A group of graduates in black gowns and caps are silhouetted against a bright sunset sky. They are standing on a hill, and many have their arms raised, with several caps flying through the air in a semi-circle above them. The scene is celebratory and captures a moment of triumph.

3. 学生全体の声を教育改善に活かした実例

ニューカッスル大学学生組合（1/2）

- Newcastle University Students' Unionは、学生全体の声を教育改善に活かした実例を、毎年度発行する「Impact Report」の中で紹介している。
- Impact Report（2019年版）に記載された、プログラムレベルの改善例は、以下の通りである（Newcastle University Students' Union 2019: 10）。
 - 情報科学プログラム
 - ✓学生によるノートパソコンの持参は、本来必須とすべきではないのに、必須としている科目があるため、その現況調査の実施をプログラム運営組織に確約してもらった。

ニューカッスル大学学生組合 (2/2)

➤ 地理学・政治学・社会学プログラム

- ✓ 学位論文の指導教員が変更になった場合に用いる、「引き継ぎシート」(hand over sheet)を開発した。

➤ 歴史学・古典学・考古学プログラム

- ✓ 成績評価に関するメンタル面の問題に対処するために、レジリエンス・ワーキング・グループを創設した。

➤ 自然・環境科学プログラム

- ✓ 博士後期課程進捗報告書へのフィードバックに必要な時間を短縮するという約束を、プログラム運営組織から取り付けた。

➤ ニューカッスル大学ロンドン校

- ✓ ニューカッスル大学ロンドン校において、学生代表が学生支援課職員の見えにくいとの懸念を示した。その結果、支援課の職員がメール連絡などで学生との関わりを深めてくれるようになった。

レディング大学学生組合

- Reading University Students' Unionは、2020-21年度の成果の一つとして、成績評価に関するフィードバックの全学的な改善例を三つ提示している。
 - 一つ目は、フィードバックの全学的な標準化を推奨したことが、学生（ジョイント・ディグリーの履修者を含む）が一貫したフィードバックを採点者から得られるという結果につながった。
 - 二つ目は、採点基準を簡潔明瞭な内容に改めたことが、その採点基準を課題提出・設定前に学生に配ることや、その課題で何を要求されているかを彼ら／彼女らが理解することにつながった。
 - 三つ目は、教員がフィードバックの重要性を理解したことが、彼ら／彼女らが学生により有益なフィードバックやサポートを与えることにつながった。
- ✓ さらに、フィードバック・ポリシーの見直しも進められており、次年度に改訂版が施行される予定である（Reading University Students' Union 2022）。

A group of graduates in black gowns and caps are silhouetted against a vibrant sunset sky. They are standing on a hill, and many have their arms raised in celebration, with their caps flying through the air in a parabolic arc above them. The sky transitions from a deep purple at the top to a bright orange and yellow near the horizon. The entire scene is framed by a thin red border.

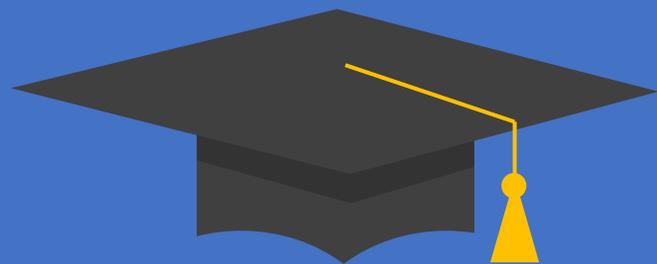
4. まとめ（日本への示唆）

まとめ

- 本発表は、イギリスの大学5校の事例の描写を通して、内部質保証に参画する学生代表が学生の声を教育の改善に活かしているのは、**学生組合が学生代表を高度に組織化しているため**であることを明らかにした。
- 組織化とは具体的に、学生組合が、
 - ① 学生代表の選出・研修を管理し、
 - ② 学生代表の役割を階層的に規定し、
 - ③ 学生代表の活動で得られた情報を学生組合で一元化し、その情報を学生全体に還元することを意味する。

日本への示唆

- 日本において、学生代表の組織化に立ちはだかる壁は三つあると予想される。
 - 一つ目の壁は、どの組織が組織化を担うかである。
 - 二つ目の壁は、学生代表になるメリットが乏しいことである。
 - 三つ目の壁は、学生は自らの利益を最大限に拡大するために、大学の全ての意思決定に参画すべきである、という共通認識が広まっていないことである。
- 以上のように、三つの壁が日本における学生代表の組織化の阻害要因になると思われる。
 - とはいえ、学生代表の組織化を完全に諦める必要はない。
 - できることをできる範囲で試行してみることが、内部質保証への学生参画の実現には何よりも大事なことであり、その実現の先に、学生代表の組織化があるはず、だからである。



ご清聴ありがとうございました。

参考文献

- Newcastle University Students' Union, 2019, Impact Report 2019
- Newcastle University Students' Union, 2021, Course Rep Handbook
- Reading University Students' Union, 2021, Course Rep Training Handbook 2021/22
- Reading University Students' Union, 2022, Assessment Feedback, (<https://www.rusu.co.uk/representation/campaigns/past-campaigns/assessment-feedback/> 2022.09.26)
- Royal Holloway Students' Union, 2020, Student Voice Report, BAME Inclusive Student Experience
- Royal Holloway Students' Union 2021, Feedback Top Tips
- SOAS Students' Union, 2021a, Student Representative Role Description
- SOAS Students' Union, 2021b, Student Rep Handbook 2021-22
- Students' Union UCL, 2019, Annual Report and Financial Statements
- Students' Union University of Manchester, 2019, Student Trustee Information Pack
- 田中正弘・武寛子、2022、「学生が作成する評価報告書は質保証にどのような影響を与えているか—スウェーデンとイギリスの『学生意見書』を参考に—」『教育学系論集』46(2)、1-16。
- University of Reading, 2020, Student Representation
- Worcester Students' Union, 2021, Course Rep Handbook
- Worcester Students' Union, 2022, Course Reps Training, (<https://www.worcsu.com/yourvoice/rep/coursereps/training/> 2022.08.28)

注：本発表は下記の拙稿の一部を要約したものである。

- 田中正弘（2023）「内部質保証に参画する学生代表—イギリスの大学の学生組合は、どのように学生代表を参画させているのか—」『名古屋高等教育研究』（名古屋大学高等教育研究センター）第23号，245-260頁